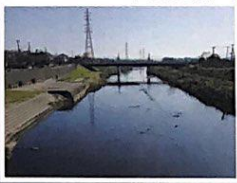




台風通過後

小糸川ふれあい橋付近

いつもの様子

公民館南側
倒木

9月9日の台風15号直撃から相次ぐ台風と記録的大雨により、君津市内全域が大規模な停電・断水・河川の増水などの甚大な被害を受けました。各所で電柱が倒れ、家屋が損壊している様子が散見され、地域の皆さんも不自由な生活を余儀なくされました。

酷暑だったこともあり、停電・断水の中での避難は困難を極めました。食料・飲料水・生活用品など、たくさんの方々が届いた物資に支えられました。また館内では、多くのボランティアや他の自治体職員のお力を借り、プーリー、土嚢袋、飲料水、食料品等の支援物資配布を継続して行っていました。

避難所開設中よりたくさんの方々から
ご支援と激励をいただきました。

**お力添えをくださいました
全ての皆様に
心より感謝申し上げます**

家族を守るために何が大切なのかを再認識したのではないだろうか。二度とあって欲しくない災害ですが、万が一のために日頃から意識して備えていきたいと思います。

台風15・19・21号の被害にあわれた
皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

**避難所開設と
支援物資配布**
君津中央公民館は台風15号の際は「特別避難所」、19号の際は「避難所」を開設。数多くの方が避難されていました。

避難所開設と
支援物資配布

災害を学ぶ

10月18日、幼児家庭教育学級「つくしんぼ広場」にて赤十字奉仕団の皆様にご協力いただき「もしもの時に備えてく防災を学ぼう」と題した講座を開催しました。

15号・19号の台風で被災した直後だったこともあり参加者の意識が非常に高く、事前準備しておくことが大切だと感じ「等」の感想が多く寄せられ、実践的かつ普段の生活にも大変役立つ講座となりました。

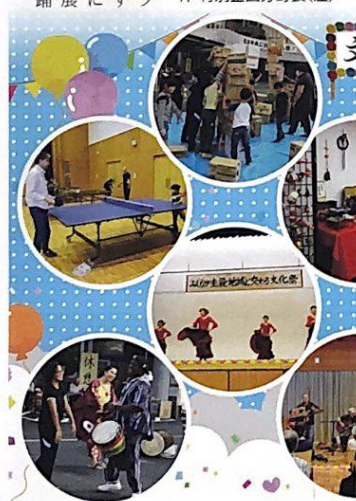
今回私たちは3つの台風を経験したことによって自然災害の脅威を痛感し、命を、そして家族を守るために何が大切なのかを再認識したのではないだろうか。二度とあって欲しくない災害ですが、万が一のために日頃から意識して備えていきたいと思います。



発行
君津中央公民館
君津市久保2-13-2
TEL 0439(50)3980
FAX 0439(54)9888
発行責任者
川名 勲

井手淑子氏(右)
岸 特別企画分野長(左)

特別企画
「知ることからはじめよう
日本のあたりまえ
外国のアタリマエ」



文化祭

みんなが主役
地域と交わる文化祭

4つの目標
①公民館利用団体全てが参加し、創り上げる文化祭とする。
②主催事業・サークルおよび団体の一年間の活動の成果を発表し、次への飛躍の場とする。
③主催事業・サークルおよび団体が相互に文化交流を深めると同時に、連帯意識を作る場とする。
④地域住民が公民館活動への理解と関心を深め、公民館事業やサークル活動に参加する契機とする。

10月26日は前日までの大雨が嘘のように空が晴れわた。清々しい朝となりました。関係者が協力して手際よくテントや休憩所の設置など館内外の準備を整え、定刻に文化祭が開幕しました。

今年度の文化祭にあたっては、度重なる台風の影響で君津中央公民館が長い期間(合計29日間) 休館となっていた状況の中、直前まで役員の皆様と協議を重ねた結果「限られた準備期間のため無理をせず、今できることを、できる範囲で実施しよう」と開催を決定しました。



文化祭を終えて

第55回君津中央公民館文化祭は、天候に恵まれ事故等もなく終えることができました。これは関係者をはじめ公民館職員や各サークル及び支援グループの方々の前向きな活動のおかげであり、本当にありがとうございます。

この文化祭が来場者や各サークルの皆様方の心に響き、新たな気付きを与える契機にしたいです。



サークル名:上総鉄道紀行

今年の活動を振り返って
私たちは昨年と同様に鉄道模型の体験運転をはじめ、発車ベル体験、鉄道部品やグッズの展示などを行いました。反省点を改善し、子どもからお年寄りまで幅広く好評をいただきました。また、今年は文化祭にも参加し、より多くの方に鉄道の魅力をお伝えできました。今後も運営を工夫して、幼児向けの体験や、保護者が子どもを撮影できるスペースを設けたいと考えています。来年も、地域の皆さんと協力してイベントを盛り上げられたらと思っています。

上総鉄道紀行は、三鉄道フェスティバル(三鉄)に参加していた子どもたちが青年になり結成したサークルです。昨年から三鉄の運営に加わり、今年は文化祭にも参加しました。



松本ピアノ製のオルガンに触れてみませんか♪

松本新一氏・花子氏に
修理していただきました

多目的ホールの舞台裏からオルガンが発見されました。

松本新一氏にお聞きしたところ、「2009年4月の生涯学習交流センター開館時、旧君津中央公民館にあったオルガンが当館の多目的ホール舞台裏に収納されたのではないかと」のこと。一部、音の出なかった鍵盤もありましたが、松本新一氏・花子氏の手により修理を終え、今後は当館に常設いたします。

ぜひ松本ピアノ製(足踏式)オルガンの音を体感して下さい!

文化祭展示

文化祭にて展示を行い、たくさんの方々にご覧頂きました。
石井宏子市長も実際にオルガンを演奏し、郷愁を誘うあたたかな音色を奏でてくださいました。



製造番号 #15044

関東大震災(大正12年/1923年)
以前の製造(詳しい製造年は不明)
東京 月島工場にて製造



オルガンの裏面
「ふいご」部分
アコーディオンの様に
空気を送って音を出します

～おねがい～
貴重なオルガンです
演奏する際は丁寧に
あつかってください

松本ピアノとは

君津市常代出身の松本新吉氏が明治時代に創立したピアノ製造メーカーです。戦前の国内三大メーカー(他は「西川オルガン」「山本」)の一つとして数えられ、当時は「見栄えのヤマハ、音色の松本」と評され人気を博していました。

1900(明治33)年6月、新吉は単身アメリカへ渡り、ピアノの製造を学びました。帰国後、桑地、月島と工場を築き、晩年は出身地である君津市の八重原工場での製造に携わりました。音へのこだわりを強く持ち、材木は国産を選び、その中でも響板には北海道産のエゾマツを採用、柔らかく美しい音色は「スウィート・トーン」と呼ばれ、愛されています。その技術は新吉・新治・新一と三代に渡り継承されました。残念ながら、1991年に八重原工場は閉鎖されましたが、現在は三代目松本新一氏によりピアノ修復が続けられ、コンサートなどで使用されています。



公民館で会おう!
成人を祝う集い
実行委員の皆さん

令和2年 君津南中学校区
「成人を祝う集い」を
開催いたします

〔申込み・問合せ〕
君津中央公民館
☎(50) 3980まで

〔会場〕 貞元コミュニティ
センター
〔申込〕 9時30分～11時30分
2月も実施予定です!

〔日時〕 11月20日(水) 実施済み
12月19日(木)

貞元 趣味教養講座 ～健康レク～



楽しく!健康に!
(11月20日の様子)

学生と
フレイルスクールを開催
貞元趣味教養講座にて、第
1回「フレイルスクール」を
開催しました。「フレイル」と
は、健康長寿に関わる新しい
概念です。健康に関する最新
情報を、千葉医療福祉専門学
校の学生が中心となり、お届
けしています。次は12月と2
月に開催「フレイル度」をチェッ
クしよう!等です。どうぞ奮っ
てご参加ください!

きみつの風景

Vol.2

彩りの晩秋



写 楽

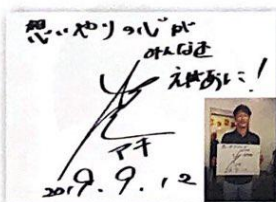
紅葉と翡翠 貞元



君津写真サークル

秋花火 貞元

君津中央公民館で活動している2つの
写真サークルにご協力いただき、住宅地の
近くにもある「きみつ」の景色をシリーズで
ご紹介いたします。



元サッカー日本代表の巻誠
一郎さんが台風後(9月12日)
いち早く駆けつけてくださ
いました。巻さんが幼児と一
緒にボールで遊ぶ様子を見
て、避難中の皆さんも瞬時に
笑顔に!その人柄に触れ、避
難所スタッフも一層の励みとな
りました。巻さんからの「想
いやりの心がみんなをえが
おに!」というメッセージを館
内に掲示中です。ぜひご覧
になってください。
(美)

編集後記



第17回 君津ふるさとかるた大会
11月24日開催
練習の成果を発揮して
大活躍!!

〔団体戦〕
低学年の部 準優勝(君津地区)
池田一樹・須永友幸・須永晴
高学年の部 3位(君津地区)
中谷朱里・岡田実結・林ひかり



子育てサポーター「さぼつ
と」の皆さんと日本学校心理
士会全国大会シンポジウムに
参加するために松戸の聖徳大
学へ行きました。「さぼつと」
の活動紹介や地域からピア・
サポートを広げ、支援してい
く大切さについて寸劇を交え
て発表しました。発表は緊張
しましたが貴重な経験をさせ
ていただきました。